HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	唐渡興宣教授研究業績（唐渡興宣教授記念号）
Citation	經濟學研究, 56(2), iii-iv
Issue Date	2006-11-29
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/16963
Type	other
File Information	ES_56(2)_iii.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

唐渡興宣教授 研究業績

著　書

1．『世界市場恐慌論』　新評論社　342 頁　1979 年６月。

2．『資本の力と国家の理論』　青木書店　272 頁　1980 年 10 月。

3．『政治経済学の冒険――現象学的マルクス主義へのプレリュード――』（北海道大学経済学・経営学研究叢書２）　北海道大学経済学部　244 頁　1996 年３月。

論　文

4．「諸資本の競争と投資行動」『一橋研究』20 号，1970 年 12 月。

5．「金本位制度と価格機構」『一橋研究』25 号，1973 年７月。

6．「現代資本主義の危機の評価（海外経済論調）」『経済評論』23 ，日本評論社，1974 年８月。

7．「好況局面の基本的構造――価格分析的景気循環論序説――」『一橋論叢』 72 ，1974 年９月。

8．「国民経済と生産の国際的関係」『一橋論叢』 73 ，1975 年５月。

9．「生産と消費の矛盾と資本蓄積――富塚良三氏の「均衡蓄積軌道」をめぐって――」『經濟学研究』（北海道大学） 26 ，1976 年３月。

10．「資本蓄積と信用」『經濟学研究』（北海道大学） 26 ，1976 年６月。

11．「世界市場における競争と価値法則」『經濟学研究』（北海道大学） 26 ，1976 年 11月。

12．「「超過利潤」に関する覚え書」『經濟学研究』（北海道大学） 27 ，1977 年５月。

13．「資本蓄積と信用（続）――その対外的側面の考察」『經濟学研究』（北海道大学） 27 ，1977 年８月。

14．「「資本」概念の省察」『經濟学研究』（北海道大学） 28 ，1978 年３月。

15．「恐慌の抽象的可能性――商品に内在する諸矛盾とその実現する運動形態――」『經濟学研究』（北海道大学） 29 ，1979 年３月。

16．「価値と生産価格」『經濟学研究』（北海道大学） 29 ，1979 年８月。

17．「世界経済の不況過程と南北問題（上）（現代の景気循環とスタグフレーション　研究報告１）」『世界経済評論』 24 ，1980 年５月。

18．「マルクス『資本論』」『経済』193，新日本出版社，1980 年５月。

19．「《所有》とは，本来いかなるものであったか?」『經濟学研究』（北海道大学） 30 ，1981 年３月。

20．「私的所有の世界」『經濟学研究』（北海道大学） 31 ，1981 年 11月。

21．「社会の危機」『經濟学研究』（北海道大学） 32 ，1982 年６月。

22．「政治と経済におけるマルクスの新しい歴史観――政治経済学序説――」『經濟学研究』（北海道大学） 32 ，1983 年３月。

23．「恐慌論批判――「資本の流通過程」と恐慌の発展した可能性――」『經濟学研究』（北海道大学） 33 ，1983年12月。

24．「歴史主義と政治経済学」　『經濟学研究』（北海道大学） 34 ，1984 年６,月。

25．“ Power and Its Structure, ” *Hokudai Economic Paper,* 13, 1984 . 7.

26．「歴史主義と政治経済学」　『經濟学研究』（北海道大学） 34 ，1984 年９月。

27．「法則の内的諸矛盾の展開」（種瀬 茂他と共著） 種瀬 茂編『資本論の研究』 青木書店，1986 年２月。

28．「実践の哲学――現象学的マルクス主義への序――」『經濟学研究』（北海道大学） 40 ，1990 年 12月。

29. 「日本資本主義と労働運動――労働者世界の構築をめざして――」 北海道労災職業病対策連絡協議会編『職業病とたたかう力』 労働経済社，1993 年 4 月。
30. 「市場的社会関係と合理化過程」『經濟学研究』（北海道大学） 44 ，1995 年 3 月。
31. 「市場的社会関係と合理化過程」 『經濟学研究』（北海道大学） 45 ，1995 年 5 月。
32. 「市場的社会関係と合理化過程」 『經濟学研究』（北海道大学） 45 ，1995 年 11 月。
33. 「今日の不況とブルジョア社会の国家形態での総括」『季刊 経済と社会』 5 号，1996 年 5 月。
34. 「組織された資本主義の脱組織化」『経済理論学会年報』 34 集，1997 年 10月。
35. 「市場－合理性計画－合理性」『経済理論学会年報』 35 集，1998 年 10月。
36. 「日本経済と教育――経済構造の変動と日本の教育問題――」 栃内香次・木村 純編著『 21 世紀の教育像――日本の未来へ向けて――』 北海道大学図書刊行会，2001 年 3 月。
37. 「私的所有権の存立構造」『經濟学研究』（北海道大学） 53 ，2003 年 6 月。
38. 「所有論の基本的視座――所有とは領有（＝取得）の過程における社会的関係である――」『經濟学研究』（北海道大学） 53 ，2003 年 12月。
39. 「マルクス所有論の基本構成――所有とは領有（＝取得）の過程における社会的関係である――」『研究彙報』（東京大学東洋文化研究所） 10，2005 年 9 月。
40. 「資本主義の新しい段階」『政経研究』86 号，政治経済研究所，2006 年 5 月。

書評・その他

41. 「有田辰男著『過剰資本論序説』」『世界経済評論』 22 ，1978 年 2 月。
42. 「久留間鮫造編『マルクス経済学レキシコン 11，貨幣 1』第 11 期の刊行によせて」『週刊読書人』1979 年 12 月 3 日号。
43. 「宮下征治著『日本帝国主義の現局面－経済学批判－（下）』」『札幌学院評論』創刊号，1984 年 4 月。
44. 「経済学部と図書室――学生の知的体力の低下を嘆く――」『図書館雑誌』 85 ，1991 年 2 月。